

# 瑞岩寺報

2023.01.01  
(令和5年 睦月)

【正月号】

## お正月総合案内

### お正月ご祈禱法要

お正月は毎日、天地が招福除災を祈念する大般若ご祈禱を勤行します。

お正月は前年の悪を反省し、新たな年の誓いを立てる、年初めにふさわしい行事です。

ご祈禱は左記の通り行われます。

厄年厄除・病氣平癒・交通安全・良縁成就・開運厄除・家内安全・無事成就・商売繁盛・学業成就・試験合格などのご祈禱のお申し込みは同封の申込書をお寺まで持参されるか、ファックス(0276-37-5535)してください。申込用紙はホームページからダウンロードできます。ご希望日時をお書きください。

【期 日】1月元日(日)・1月2日(月)

1月3日(火)

### 【時間】

午前9時・10時・11時

午後1時・2時・3時頃の6回

### 【ご祈禱料】

ご祈禱木札(特大) 20,000円

ご祈禱木札(大) 10,000円

ご祈禱木札(中) 5,000円

ご祈禱紙札(小) 3,000円

### 【お願い】

- 一、お願い毎は二つまでにしてください。
- 一、ご祈禱札にはお守りがつきます。
- 一、法要にはなるべく本人がご参加ください。
- 一、希望の方には郵送しますので申し込み書にお書きください。

### 年始参詣

【期 日】1月元日～3日

【時間】午前7時頃～午後5時まで

※本堂にて新年の挨拶をされた方に、瑞岩寺の新年祈禱札と令和5年度カレンダーをさしあげます。是非、ご家族皆様お揃いで気軽にお出かけください。お年賀冥加金を同封させていただきました。ご本尊様へお気持ちを伺えただければと存じます。

合掌

### 【お願い】

- 一、マスクの着用をお願いします。
- 一、定期的に窓を開け、換気しております。
- 一、トイレはこども園東側外トイレをご使用ください。

### お墓そろうじ

瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【期 日】12月25日(日)

【時間】午前7時から

お正月が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。この暮のうちに仏壇をきれいにし鏡餅を供え、お花を飾り準備を整え、元日早朝、若水を汲み供え、一家そろって仏壇に手を合わせ、よき新年をお迎えになることは、私たちの善行の始まりだと思います。さらに、お寺に参拝してご先祖様に感謝の誓いを祈ることこそ意義深い初詣でになると思います。一斉お墓掃

## 厄年早見表

◇からだの変わり目◇

	後 厄	本 厄	前 厄
男の大厄 42歳	昭和56年	昭和57年	昭和58年
女の小厄 37歳	昭和61年	昭和62年	昭和63年
女の大厄 33歳	平成2年	平成3年	平成4年
男25歳の厄年	平成10年	平成11年	平成12年
女19歳の厄年	平成16年	平成17年	平成18年
幼児4歳の厄年	令和元年	令和2年	令和3年
男女61歳の厄年	昭和36年	昭和37年	昭和38年
13歳詣り	男女平成23年		

除を上記のごとく行います。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

- ◆強制ではありません。また、上記以外の日や時間でも結構です。
- ◆自分のお墓の掃除が終わったら、通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願いします。
- ◆飲み物はお寺で用意してあります。
- ◆お供え物はお参りが終わったら、できる限りお持ち帰り願います。

(住 職)

新本堂建立にご寄進を表明いただき心より御礼申し上げます

※十一月三十日までの御寄付(喜捨)を掲載しております。  
※十一月三十日時点の御寄付(喜捨)表明金額 八八、九二六、〇〇〇円

Table with 10 columns and 20 rows listing donors and their contribution amounts. Includes names like 長谷川 俊道, 大塚 肇, 久保田 孝雄, etc.

計 五六、三六六、五七八万円  
(檀信徒込み)

五木寛之さんの講演会を終えて

五木寛之さんの講演会が9月3日に無事になんとか終了した。2年前に依頼していた講演会だったが、コロナの世界的流行のため2年間泣く泣く延期していた。3ヶ月前にチケットを再販したが、瞬間沸騰的に完売!あとで知ったことだが、五木さんのすべての講演会が中止になっており、当寺が初めての講演会だったらしい。遠くは佐賀県や三重県、名古屋や東京、仙台からも参加者がおられて自身一番驚いた。

『蒼ざめた馬を見よ』で直木賞、『青春の門』で吉川英治賞を受けられ、代表作に『風の王国』『大河の一滴』など数多くの作品があり、最近ではニューヨークで発売された、英文版『TARIKI』は、2001年度「BOOK OF THE YEAR」(スピリチュアル部門銅賞)に選ばれ、また2002年度の第50回菊池寛賞を受賞され、2004

年には第38回仏教伝道文化賞、2010年にNHK放送文化賞、長編小説『親鸞』で第64回毎日出版文化賞を受賞されておられるさすが文壇の大御所だ。

今年、御年90歳になられたとは思えないお話しぶり(昔は恋につまづき、今は段差につまづく)と笑いを誘っておられた。深い内容で多くの方が満足されて帰られたと思う。ご講演の中で、五木さんが北朝鮮に捨てられ、命辛々逃げ延びる途中で、父と弟が亡くなり、お母様も病気を患ってお亡くなりになったお話しをされていた。

90歳になっても歯医者以外、一度も病院に行かずに、事務所のスタッフが送迎してくださったこともあったが、車から逃げ出したこともあるそうで、「なぜ、自分はそんなに病院嫌いなのか?」自分のこころの深層心理に、病院に行けずに亡くなった母親への無念や悔恨があるのではないかと自問しておられた。

僕も葬儀の場で、それを感じることがある。かけがえのない大切な人を失った悲しみやこころの痛みは、悔恨として、遺族のこころにずっくと遺る。それは、故人への想いが強ければ強いほど強烈になる。五木さんの場合は、「母親を医者に診せることができなかつた無念と悔恨が、五木さんが極端に病院嫌いな理由ではないかと悟った。」と語っておられた。

でも、それも最近終了したそう。夢の中でお母様が、「寛之、もういいよ!」と仰られたそう。90年という長い歳月が、五木さんとお母様を互いに「救し救される」関係にしたのかも知れない。

人間の悲しみは深く、いかんともし難いことも多い。そんなときは、「元気になるような曲」ではなく、「哀しい旋律の曲」が良いという。北朝鮮から逃げてきたとき、空腹で、暖房も冷房も、食料もない中、皆が唄を歌っていたという。

お知らせ

「唄には人間を元氣する力」がある。哀しいときに元氣なテンポの早い唄を聴いても元氣にならない。逆に「哀しい曲」が自分を元氣にしたという。僕も自分の書籍に書いたが、「人間は上にも成長するが、下にも成長することができる」と思う。「哀しみ」に浸りつづけることで人はまた、「元氣」になることができる。五木さんの講演会を聴かせていただき、本当に良かった。また、五木さんの書籍を読み返してみたいと思った。 合掌

podcast

- 『HASEの金曜は聴きかみ寺』
iTunesでお聴きになる方はこちら
https://podcasts.apple.com/jp/podcast/id1572553191
・PCで直接聴取される方はこちら
https://anchor.fm/hase5

瑞岩寺書院解体のお知らせ

長年使用しました書院を新築するために解体いたしました。今後本堂法事の際に、待合室がなくなりますのでご了承ください。

一人一人がかけがえのない存在だから 普く人に仏さまの智慧と慈悲を

宗教法人 慈眼山 瑞岩寺

群馬県太田市矢田堀町388
TEL:0276-37-1231/FAX:0276-37-5535
E-mail:info@zuiganji.com
Website:http://www.zuiganji.com

ブログ http://ameblo.jp/zuiganji/

- ◇御意見、御要望はいつでもお知らせください。
◇お身体をお大切に、お健やかにお暮らしてくださいませ。
◇み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌